

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和7年7月10日（木）

2 確認箇所

- ・瓦礫類一時保管エリア J（図1）
- ・自由地盤系地震観測地点（南地点）（図1）

3 確認項目

- （1）瓦礫類一時保管エリア J の状況
- （2）自由地盤系地震観測地点（南地点）の状況

4 確認結果の概要

（1）瓦礫類一時保管エリア J の状況

東京電力は全ての固体廃棄物（ただし、水処理二次廃棄物および再利用・再使用対象を除く）の屋外における一時保管を令和10年度中に解消することを目指している。

現状、固体廃棄物は、発電所敷地内の各所に設けられた瓦礫類一時保管エリアに集積され、一時的に保管されている。

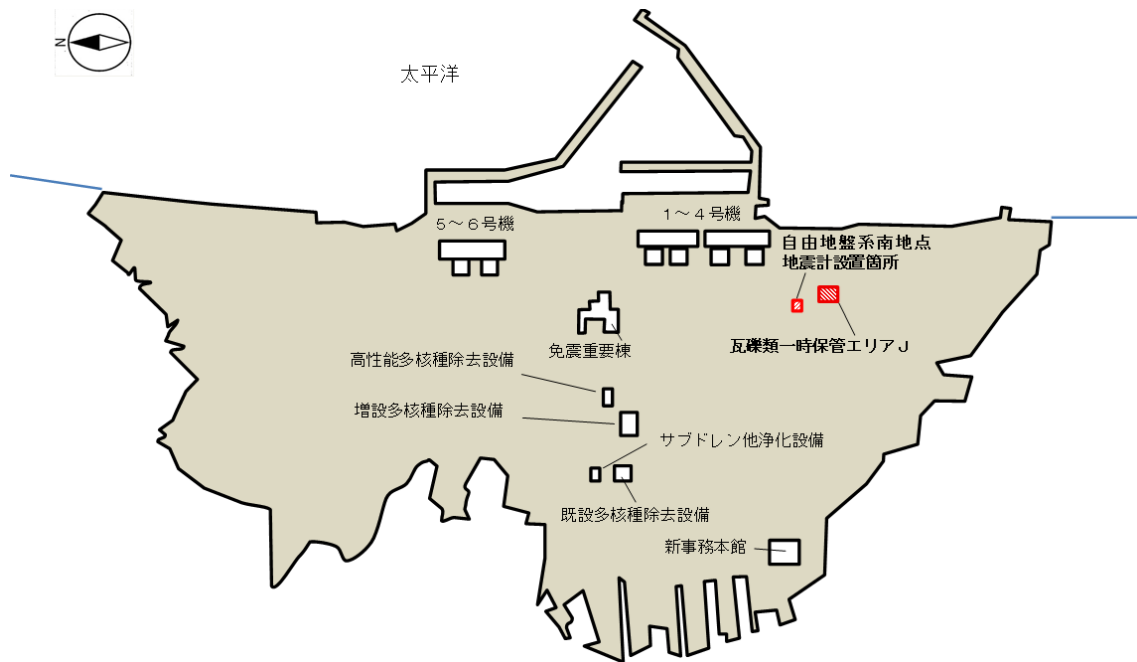
本日は、そのうちの一つである、構内の廃棄物埋立処理施設（管理型最終処分場）の上に設置された瓦礫類一時保管エリア J（以下、「エリア J」という。）の状況を確認した。（前回確認：[令和6年9月13日](#)）

- ・エリア J では、1 m³コンテナが3～4段積みで保管されており、コンテナの上部は荷崩れ防止のため緑色のネットで覆われていた。（写真1）
- ・コンテナの一部には錆が生じ腐食しているものも見受けられたが、確認した範囲で廃棄物の飛散や流出は見られなかった。（写真2）
- ・当該エリアの周辺には、空の1 m³コンテナが1～4段積みで仮置きされていた。（写真3）

（2）自由地盤系地震観測地点（南地点）の状況

福島第一原子力発電所における地震観測地点のうち、自由地盤系の2地点（北地点及び南地点）は、大規模な地震が発生した際、地震観測記録を基準地震動や過去の地震記録等と比較するために利用されている。本日は、自由地盤系の2地点のうち南地点の状況を確認した。

- ・当該エリアには地震観測装置コンテナ及び観測点が設置されているが、エリア内は草木が繁茂していた。東京電力によれば、地震計は地中に埋まっているため、草木が繁茂していても測定に影響はないとのことである。（写真4）



(図 1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真 1－1)
エリア J の外観
※北東側から撮影



(写真 1－2)
1 m³コンテナの保管状況
※南東側から撮影



(写真 2)
錆が生じているコンテナ



(写真 3 - 1)
エリア外に仮置きされている空のコンテナ①
※エリア J の西側



(写真 3 - 2)
エリア外に仮置きされている空のコンテナ②
※エリア J の南側



(写真 4 - 1)
自由地盤系地震観測地点の状況①
※赤枠が地震計設置箇所



(写真 4－2)
自由地盤系地震観測地点の状況②



(写真 4－3)
自由地盤系地震観測地点の状況③

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。